



編集・発行
 日蓮宗 能勢妙見山
 広報部
 〒563-0132
 大阪府豊能郡能勢町野間中
 電話 072-739-0329
 FAX 072-739-2883

八朔祭祈禱

9月3日（日） 午前9時～午後4時 開運殿にてご祈禱

かつて能勢妙見山の八朔祭では、奉納相撲が開催されました

上の欄に掲載の写真は『奉納角力十周年記念』の石碑です

境内のどこにあるのか、昔日を偲んで探してみてもいいでしょう

【9月の主な行事】
 ☆八朔祭祈禱 3日(日)

開運殿にて 9時～16時 随時ご祈禱
 北辰閣二階 10時40分 報恩法要
 11時 奉納落語
 (喜怒哀楽氏)

御祈禱お申込の方には「開運八朔田之実守」授与
 餅撒きは中止します

- ★清掃の日 15日(金) 11時
- ★月例祈願法要 15日(金) 13時
- ☆秋季彼岸法要 22日(金) 13時
祥雲閣位牌堂にてお塔婆を立てて御回向します
- ★鷗様月例祭 22日(金) 15時

【10月の行事予定】

- ★清掃の日 15日(日) 11時
- ★月例祈願法要 15日(日) 13時
- ★鷗様月例祭 22日(日) 15時
- 星嶺演奏会・茶論は当面の間休止

◎ご祈禱・御回向等のお申込はFAX・メールでも受け付けています

○諸行事は社会情勢により変更する場合があります
 ◎写経はご自宅でもできます お問い合わせ下さい
 ○奉賛会会員の送迎車の運行につきましては

事務所にお問い合わせ下さい

◆ケーブル&リフトは水・木は定休(但し例外あり)
 (詳細は能勢電鉄へ Tel 072-792-7716)

朗人？

偉美理庵

今月は祝日が二日ある。18日と23日だ。23日は秋分の日、秋の彼岸中日だ。そして18日は敬老の日。

ところが暦を見て驚いた。敬老の日とは別に老人の日というのもあるではないか。

小生の意識には、敬老の日というのはかつては9月15日に老人の日と呼んでいた国民の祝日が、名称を変え、第三月曜日になっただけのこと。つまり老人の日は現存しないと思ひ込んでいたのである。それがどういうわけか、暦の15日の欄には今も老人の日と記されているのだ。

聡明な読者には、当たり前のごとを今さらなにをグダグダ言ってるのかとお思いだらうが、一応説明すると、敬老の日は「祝日法」という法律で定められた国民の祝日。対する老人の日

は「老人福祉法」によるもので9月15日に定まっていますという。

敬老の日は国を挙げて年寄りを祝う日であるのに対して、老人の日は祝うのではなく、老人自身が元気で生き生き暮らすことを促す日とされている。

ところで「老人」という言葉を辞書で調べてみると、年とつた人、年寄りとある。では何歳からを老人と呼ぶのか。これについては特に基準を設けてはいないようだが、老人福祉法や世界保健機関（WHO）では、65歳以上を原則高齢者としている。

この年齢が実情に適合しているかどうか。年齢を感じさせない高齢者が増えてきた現在にはなだ疑問に感じることもある。

かく言う小生も、昨年運転免許更新前の高齢者講習を受けさせられた。なにか人格を否定されているよう

な厭な気がしないでもないが、同年配の他人を見てみると、たしかに動きは年寄りのものである。

鏡を見ても、年を取ったとは思わぬ。でも気力だけは若い者には負けない。そうは思っても体力はついていない。

ならば、「老人」ではなく「朗人（ろうじん）」として生きていこうではないか。活き活き暮らすことを目指し毎日を朗人の日として。

奉賛会員の募集

妙見大菩薩とご縁を結んで戴いた奉賛会員には行事のご案内、専用車両にての送迎、無料駐車券提供等の便宜を図っております。是非入会お申し込み下さい。詳細は寺務所へお問合せ下さい。

《法華経に学ぶ現代》

純智庵

不善の心を懐いて

罰が当たると本当なの

色を作して

ある筈ないよそんなもの
大人のウツに決まってる
そんな思いでした悪戯が
バレてたちまち大目玉

佛を罵らんは

親爺の拳骨痛かった
だけとお陰で 大罰受けず
この歳までも

無量の重罪を獲ん

『法師品第十』

お礼を言います 親爺さん
生きてきた
どうにかこうにか

仏教まめ辞典

道具（どうぐ）

大工道具、家財道具など、器具の総称をいい、日常生活で広く使われる言葉だ。広辞苑に「仏道修行の用具。仏具」とあるように、もとは仏教用語で『仏道修行に具えるもの』という意味だった。

仏道修行では必要最低限の道具しか所持を許されなかった。小乗では三衣と鉢、座具、それに飲み水をこすための漉水囊。大乘はこれに加えて杖、ようじ、香炉、手拭い、小刀、経巻、仏像その他全部で十八物と定められていた。

しかもこれらの「道具」はそれぞれ一つしか所持を許されなかった。そして、必要ではない余分のもの、「長物」と呼んだ。現代でも過剰にある不要なものを「無用の長物」というが、語源はここにある。断捨離が言われて久しいが、長物の整理が必要なこの頃である。